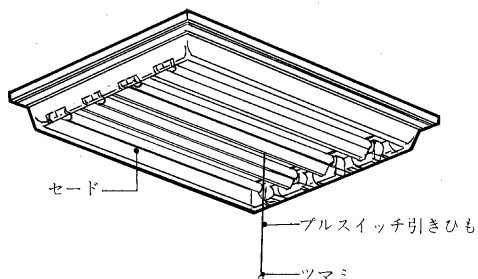


## 東芝蛍光灯器具ホームライト®取扱説明書

このたびは東芝蛍光灯器具ホームライト®をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

### 各部のなまえ



### インバーター

50・60Hz 共用

### 器具の取り付けかた

■ 本体には簡易取付部と直付K・O(ノックアウト)、(木ねじ用)、12×20K・O(ボルト用)があります。(第2図)

■ 取り付けかた

1. 簡易取付部を使用する場合

(1) 埋込引掛シーリングの場合

- (イ) ランプを本体からはずします。
- (ロ) 埋込引掛シーリングのねじ穴に付属の止めねじ2本を2～3回ねじ込んでください。(第3図)
- (ハ) 本体の簡易取付部のダルマ穴2カ所に止めねじを合わせて右方向に回転し止めねじに本体を引っ掛けてください。(第5図)
- (ニ) 止めねじを手で締めたと、ドライバーでさらに締め付けて、本体を天井に固定してください。(第6図)
- (ホ) 引掛シーリングキャップを引掛シーリングに接続します。(第6図)
- (ヘ) ランプを本体に取り付けます。

(2) 丸形・角形引掛シーリングの場合

- (イ) 天井のシーリングを中心に付属の取付金具Aを付属の木ねじ2本で天井面に取り付けます。(第4図)
- 以後の取付手順は埋込引掛シーリングの場合と同じです。

2. 木ねじ及びボルトで取り付ける場合

- 本体の直付K・O(木ねじ用)を抜いて、付属の木ねじ4本で本体を天井に固定してください。(第2図)
- また埋込ボルトを使用する場合は12×20K・Oを抜いてナットで本体を固定してください。

3. アウトレットボックス、コンクリートボックスに取り付ける場合

- (イ) 付属の取付金具AとBを併用することにより直接取り付けられます。
- この場合、器具の取り付けを電気工事に依頼してください。
- (ロ) 取付金具Aの凸部に取付金具Bの凹部を重ね合せ、電源線を取付金具Bの電源穴に通し、天井のボックスまたはアンカーボルトに取り付けてください。(第9図)
- (ハ) 電源線接続

電源線の皮を11mmむいてスイッチのはずし穴に芯線を押込んで、引掛シーリングキャップをはずしてください。電源線の芯線をスイッチの電源穴に差し込んでください。電源線は器具内でたるまないように天井に押し込んでください。(第10図)

### 器具を取り付ける前に

1. 器具を取り付ける天井面に第1図のような引掛シーリングが取り付けられているか確認してください。



丸形引掛シーリング



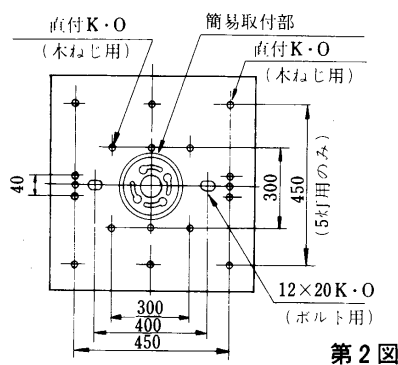
角形引掛シーリング



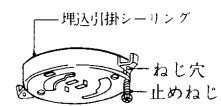
埋込引掛シーリング 第1図

2. 引掛シーリングが取り付けしていない場合は付属の引掛シーリングの取り付けを電気工事に依頼してください。

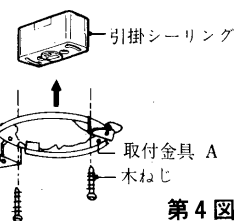
[ご注意]埋込引掛シーリングをご使用の場合は、ボックスに確実に取り付けられているかお確かめください。



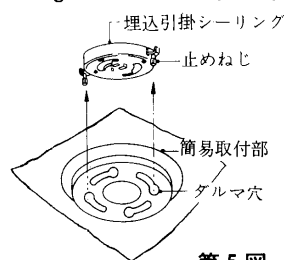
第2図



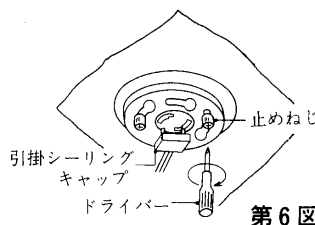
第3図



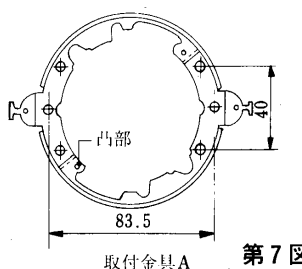
第4図



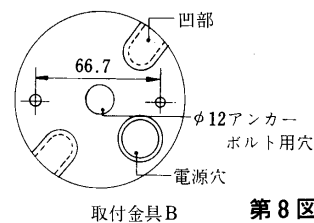
第5図



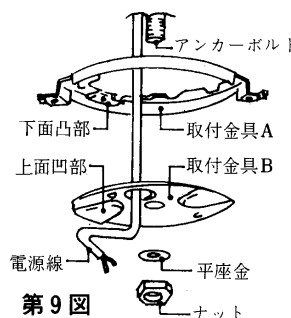
第6図



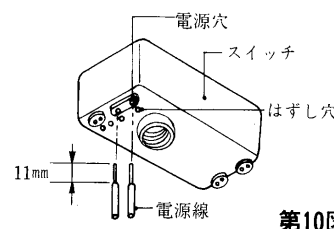
第7図



第8図



第9図



第10図

### お客様へ

引掛シーリングの取付工事は必ず電気工事に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられています。

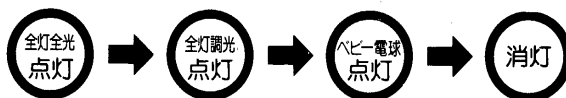
### 工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

# TOSHIBA

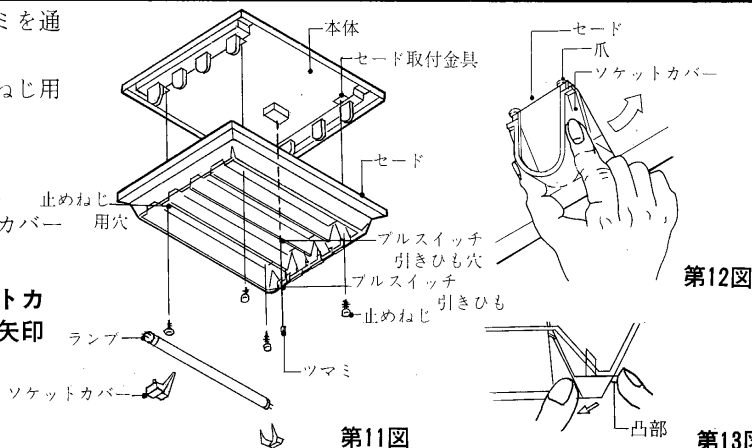
## 器具の正しい使いかた

1. ランプ・ベビー電球がソケットに完全に取り付けられているか確認してください。ゆるんでいますと点灯いたしません。
2. プルススイッチ引きひも(つまみ)を引きますと次の順序で切り換えられます。  
プルススイッチ引きひもはゆっくり引いてください。



## セードの取り付けかた

1. 第11図のようにセードのスイッチ引きひも穴に、つまみを通します。
2. 第11図のように本体のセード取付金具にセードの止めねじ用穴を合わせ止めねじで4ヶ所固定してください。
3. ランプをランプソケットに確実に取り付けてください。
4. 第12図のようにソケットカバーを取り付けてください。  
(ソケットカバーの爪をセードの縁に引っ掛けソケットカバーをセードへ押し込み取り付けてください。)



第12図

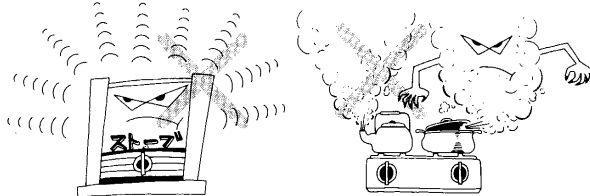
第13図

ランプ交換のときは、第13図のように片手でソケットカバーを保持し、ソケットカバーの凸部を指で掛けて矢印の方向にはずしてください。

## 特にご注意を

- 器具の近くでラジオを使用するのはお避けください。(雑音が入る場合があります。)
- 調光器(コントロールクス)による調光使用はできません。調光器の取り付けしている回路で器具を使用しますと、器具が損傷の原因となります。
- ランプを交換するときは、必ず電源を切ってください。
- ランプを交換しても点灯しないときはスイッチを入れ直してください。(保護回路が入っているので点灯しないことがあります。)
- ランプは全灯取り付けで使用してください。1灯でもランプをはずして使用すると正常点灯しないことがあります。
- ランプの寿命がくると保護回路が働き、残るランプが調光点灯のままになります。すみやかにランプを交換してください。
- 通電したまま全部のランプを交換すると、保護回路が働いてランプが点灯しないことがあります。(この場合、約5分後に正常点灯します。)
- この器具は天井の丈夫なところに取り付けてください。
- 薄い天井板(2cm以下)や弱い天井などに取り付けますと、ねじ止めが弱く器具が落下するもとなります。
- 器具に紙や布などをかぶせたりしないでください。火災やカバーの変形のもとになります。

- 器具の改造やランプ以外の部品の交換は、絶対におやめください。性能が十分に発揮できないばかりが大変危険です。
- この器具は屋内専用で、5℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。
- 暖房器具の近くなど温度の高い場所、湯気の直接あたる場所、湿気の多い場所でのご使用は絶対におやめください。火災や感電、故障のもとになります。



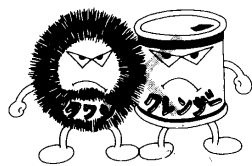
- ランプは端部が黒ずんだり暗くなりましたら早めに交換してください。
- ランプ交換の際には、“東芝蛍光ランプ メロウ5 20ワット形”とご指定ください。

## お手入れのしかた

- 器具のお手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。
- カバーが汚れたときは、やわらかい布を石けん水に浸し、よくしぼってからふきとってください。



- ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。



- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社

照明電材事業部 〒140 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル) TEL (03)5463-8766

(001P120)C

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

FPH-1005ZK (2 / 2)